

【魅力ある産業を維持・創造するまち】

若林 亜結（わかばやし あゆ） 豊科北中

私は、豊科北中学校二年、若林亜結です。

魅力ある産業を維持・創造するまちグループでは、安曇野市の産業や商業等について学習しました。そこで、各議員から質問させていただきます。

私は食の魅力のPRについてお尋ねします。

私は、安曇野市のことをもっと多くの人に知ってもらうために安曇野市の食の魅力をPRし、より多くの人に知って頂けるような安曇野市を目指しています。

しかし、私が思う課題は、安曇野調理師会、松本大学、飲食店の三つが連携して安曇野市の新しいグルメを開発しても、それを知っている人が少ないというのが課題だと考えます。

実際、開発したグルメの一つでもある「安曇野林檎ナポリタン」の認知度を調べるため、私が在籍する豊科北中学校の二年生106人にアンケートをしたところ、知らないと答えた人は、90.1%でした。それに比べて知っていると答えた人は4.8%でした。住民が知らないということは、安曇野市に根ざした文化とは言えないと思います。

その課題がなぜ起きているかという、市のホームページやのぼり旗での宣伝では、見る人が限られてしまい広まりにくいという問題があるのではないかと思います。

そこで、私は、愛媛県の例を参考に考えました。愛媛県では、「みかんごはん」が小・中学校の給食に出され、それが少しずつ住民に根付き、テレビで取り上げられ、知名度が上がりました。安曇野市でも小・中学校の給食に「安曇野林檎ナポリタン」を出して頂きたいと考えます。

その実現のために市にお願いしたいことは、給食センターの方や制作に関わった人と相談して検討して頂きたいと考えます。

そうすることで、今以上に安曇野市の食の魅力を多くの人に知ってもらえると思います。以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】 商工観光部 観光交流促進課
教育部 学校教育課（学校給食担当）

【魅力ある産業を維持・創造するまち】

瀧浪 幸太（たきなみ こうた） 三郷中

私は、三郷中学校二年、瀧浪幸太です。

私は、安曇野のブランド品について、お尋ねいたします。

私は、安曇野のブランド品がもっと全国に広まるような安曇野市を理想としています。

しかし、自分が思う課題は、全国の人が安曇野で何を作っているのかをまだまだ知らないことです。なぜでしょうか。それは全国への発信が少ないからだと思います。

そこで、私は、全国へブランド品を販売するときに、「あづみーず」のシールなどを貼り、安曇野のブランド品として知って頂き、そして、安曇野のブランド品はおいしいと実感してもらえるようにするという方法を考えました。シールのデザインは、安曇野市の小中学校など、たくさんの人から募集をすればよいと思います。デザインを募集することで、安曇野市の方々にもブランド品について知って頂くことができると思います。

そうすることで、シールの製作費がかかってしまうという心配がでてくるかもしれません。しかし、それは、ブランド品による利益の一部を使用するようにすれば解決すると思います。

こうすることで安曇野のブランド品が何なのかが全国に広まっていき、安曇野のブランド品に自信が持てるようになるのではないのでしょうか。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】 商工観光部 観光交流促進課
農林部 農政課

【魅力ある産業を維持・創造するまち】

中沢 日和（なかざわ ひより）穂高東中

私は、穂高東中学校二年、中沢日和です。

私は、世界かんがい施設遺産に認定され、安曇野市の堰の代表である拾ヶ堰をきれいにし、それをどのように維持するかについてお尋ねいたします。

拾ヶ堰は、1816年に、延べ67000人の手彫り作業によって、三ヶ月という短期間で完成し、大正時代半ばには、1000ヘクタールの水田にかんがいされるようになり、安曇野市は県内有数の田園地帯となりました。

私は、このような歴史ある拾ヶ堰にゴミがなく、美しい安曇野市を理想としています。しかし、現在拾ヶ堰がどんどん汚くなっていることが課題だと思います。

なぜそのような課題がおきているのかというと、拾ヶ堰を掃除する機会が少ないからだと思います。

そこで私は、年に一度、安曇野市民が自らの手で拾ヶ堰を清掃し、拾ヶ堰の保全をするという方法を考えました。私は、等々力町区の清掃活動に参加した際、こういった活動に参加する人が少なく、今まで以上に市民が関わるのが重要だと思いました。

その実現のため、市にお願いしたいことは、拾ヶ堰を掃除する人の募集と、掃除用具の用意をして頂きたいと思います。

そうすることで、拾ヶ堰の美しさを維持することができ、安曇野市に来た人にも安曇野の魅力を感じてもらえらると思います。

また、同時に、市民自ら拾ヶ堰を掃除することで、川の本来の美しさをしり、拾ヶ堰の価値を再認識することになると思います。そうすることで、故意や不注意で川や街を汚すようなことがなくなるのではないのでしょうか。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】農林部 耕地林務課

市民生活部 廃棄物対策課